

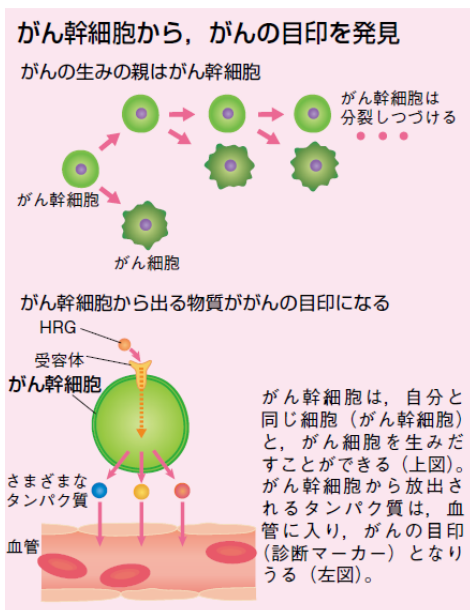
増殖因子による乳がん幹細胞と肺がんシグナルの制御機構から 見えてくるがんの個別化医療への道筋

第2回腫瘍病理セミナー

東京大学 医科学研究所
分子療法分野 / がん分子標的研究グループ
後藤 典子 特任准教授



後藤先生は、金沢大学医学部を平成元年に卒業、東大・第三内科（血液内科）にて研修の後、医科研にてEGFなどの増殖因子から始まる信号伝達の基礎研究を行い、平成19年に独立後は、マイクロアレイ技術を用いることで、乳癌幹細胞や薬剤耐性肺癌など、臨床での治療に向けての研究に発展させています。今回は、金大でのセミナーのために来沢された機会を利用し、最先端の研究成果を紹介して頂くセミナーを企画しました。たくさんのご来聴をお待ちしています。



Hinohara, PNAS 2012

日時：10月2日（火） 17時から
金沢医科大学病院 本館4階 C42 講義室

主催：病理学I清川 kiyokawa@kanazawa-med.ac.jp 内線 3611